

各主体からの報告事項等

1. 観光学術学会（琉球大学 越智教授）
2. オーバーツーリズムの現状・課題・対策（沖縄県）

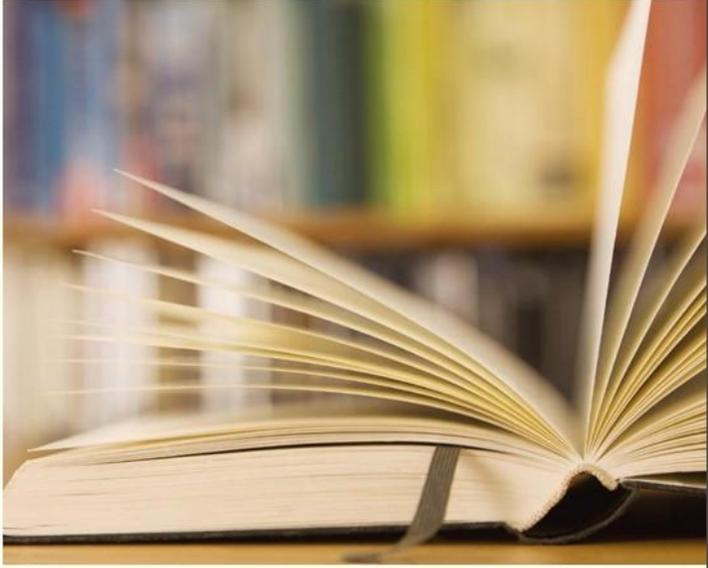
1. 観光学術学会（琉球大学 越智教授）

観光学術学会第14回大会フォーラムの共催

観光学術学会第14回大会
(2025年7月5日(土) 於.琉球大学)

フォーラム
首里城焼失後の周辺まちづくり
の現在地

コーディネーター:越智正樹(琉球大学)



主催:観光学術学会 共催:首里杜まちづくり推進協議会 後援:琉球大学研究共創機構

大会実行委員会

越智 正樹(委員長)、屋宜 智恵美(国際地域創造学部・准教授)、
西坂 涼(同講師)、波多野 想(島嶼地域科学研究所・教授)

観光学術学会全国大会とフォーラムについて

■観光学術学会

- 観光学の学術的発展と普及を図ることを目的とする全国学会として、2012年2月に設立。毎年、全国大会を開催している（関西や首都圏）。

■大会フォーラム

- 全国大会は大別して、「学会各種委員会による企画」と「会員が応募して行う発表」の2種類がある。
- 本学会において前者は、研究企画委員会が企画する「研究シンポジウム」と、大会実行委員会が企画する「フォーラム」の2種類がある（他にもあるが割愛）。

初の沖縄開催である第14回大会では、この「フォーラム」を、本協議会「持続可能な観光ワーキンググループ」の2025年度プレワーキングとの合同イベントとして企画した。

今回のフォーラムの内容

<p>第1部 (10:00~ 10:45)</p>	<p>首里杜まちづくり推進協議会の説明</p> <ul style="list-style-type: none">▪協議会の設立経緯および組織編制の説明▪R6年度の主な活動▪持続可能な観光ワーキングについて	<p>越智 正樹 (琉球大学)</p>
<p>第2部 (10:45~ 11:30)</p> <p>実際には12:00前 まで延長した</p>	<p>持続可能な観光ワーキング R7年度プレ会合</p> <ul style="list-style-type: none">▪ワーキングが今年度または将来的に行うべきこと、目指すべきこと	<p>伊良波 朝義氏 (NPO法人首里まちづくり 研究会・理事長)</p> <p>いのうえ ちず氏 (同・副理事長)</p> <p>知念 武紀氏 (沖縄県首里城復興課)</p> <p>與那覇 博訓氏 (那覇市観光課)</p> <p>越智 正樹</p>

■参加者数

- 約80名余^(※)（登壇者除く。すいまち研メンバーと国建社員、計7～8名含む）

■第2部の様子

- 全国の研究者らから、事例紹介を伴って活発に意見が発せられた。
 - 歩くことの価値、ガイド付きまち歩き的重要性
 - 祈りの場や精神文化の保護と観光の両立
 - 公共交通と連動したルート設計
 - バリアフリー、ユニバーサルデザインの観点からの休憩施設整備
 - 地域資本による経済循環の重視、外部資本の流入の抑制等

学会側としても、フォーラムとしては異例の参加者数と盛り上がりで、全国の研究者らの関心の高さがうかがえた。

(※) 学会参加者数は195名で、学生を除けば99名であった。学会事務局によると、参加者のうち8割方はフォーラム開催日の午前中にチェックインしたとのことだが、その全員がフォーラムに参加したとは限らず、特に学生の大半は別会場にいたと思われるため、学会員のフォーラム参加者数は70名余であったと推定した。



2. オーバーツーリズムの現状・課題・対策（沖縄県）

オーバーツーリズムの現状・課題・対策

対象エリアの概要

- 年間入園者数 : 約 280 万人 (平成30年)
: 約 100 万人 (令和 4年)
: 約 **167 万人 (令和 6年)**
- 年間入場者数 : 約 177 万人 (平成30年)
: 約 65 万人 (令和 4年)
: 約 **115万人 (令和 6年)**

オーバーツーリズムの状況写真



約150m通過に約25分かかるほど深刻な交通渋滞が発生している中、緊急車両が動けない状況になった ※H30年以前撮影の写真



特に午前中の時間帯の渋滞がひどく通勤・通学の時間帯と重複している



素屋根、木材倉庫見学エリア等に、修学旅行生を含む観光客の集中が発生している (正殿を想定する)



有料見学エリア入口 (奉神門) 付近で、観光客が入場待ちが発生する

地域の現状・課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 首里城公園 周辺道路の渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通渋滞により、通勤や学校の送迎などの点で地域住民の日常生活に影響が出ている ・ 首里城公園は小学校に近接しており、危険性が高いと声が上がっている ・ 緊急車両が動けず危険な状況が発生している ・ 観光客のツアー行程や快適な観光にも影響が出ている 	観光客・住民
2. 施設の混雑	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首里城公園内施設は、修学旅行を始めとした大勢の観光客が訪れるが、一部施設に混雑が発生し、快適に観光が出来ないなどの不満等が出ている ・ 混雑が要因で避難誘導が困難となり、群衆事故が発生する恐れがある 	観光客

対策 (首里杜エリアの目指す姿)

- ・ 首里城公園に集中する車・人について、予約制などにより需要をコントロールしつつ、周辺への分散化を促進し、地域の活性化にもつなげる
- ・ このように、**エリア一体で観光管理の体制を構築**することで、自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す

